

8-8

養護老人ホームにおける口腔ケア支援の実践

～『自立という名のほったらかし』にならないために～

自立支援

口腔ケア

養護老人ホーム 偕生園

※キーワードは必ずご記入下さい。

援護課 主任生活相談員 古川 進	援護課 支援員 岡安 尚子
東京都昭島市田中町 2-25-3	
TEL : 042-541-1236	E-mail : kaiseien-soudanin@doho-gojyokai.com
FAX : 042-546-8284	URL : http://doho-gojyokai.com/2kaiseien.html

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人同胞互助会を母体とする偕生園は、昭和34年3月に定員50名の施設として開設されました(来年3月には開園50周年を迎えます)。現在は定員140名となり、主に利用者の日常における生活相談や支援を行っています。
----------------------------	--

〈取り組んだ課題〉

- ・利用者の口腔に意識向上のための啓蒙
「歯はないが、不自由はない」「義歯は使いたくない」「なんでも食べられる」という方が多数。
バランス良く食事がとれない。
体重の減少や増加の傾向が見られる。
20年度事業計画の重点項目「歯の大切さの啓蒙」。
- ・養護老人ホームにおける口腔ケアのあり方について
義歯にカビが付着！?
- ・「口腔ケア要介助者」への口腔ケア支援
要介護状態≠口腔ケア要介助者
ADLの自立≠口腔ケアの自立

〈具体的な取り組み〉

- ・くらし安全委員会および会議での検討
- ・口腔についての利用者アンケート(回収74.6%)
- ・利用者向けの歯科医師による講演(6月・11月)
6月講演 参加者101名 参加率75.9%
講演後、希望者に歯科相談を実施
講演終了後の歯科医のアドバイスより
- ・歯科検診の実施
- ・「口腔ケア要介助者」の調査と支援
対象者 12名 20年8月～実施中
食堂に歯磨きセットを常設。より実践的な取り組みをすべく、毎食後、声かけや見守りを行い、口腔ケア要介助者への支援をスタート。

〈活動の成果と評価〉

- ・歯科医による講演や歯科検診の後、これまで義歯の使用に対して、拒否傾向にあった利用者が、歯科受診を希望されるようになってきている。
- ・利用者とともに、職員の意識にも変化が見られ、口腔について、以前よりも積極的に話題が出るような雰囲気になりつつある。
- ・当初2名だった「口腔ケア要介助者」への支援が、現在では12名となり、利用者の口腔機能の維持に繋がっている。

〈今後の課題〉

- ・口腔ケアに関するスキルアップと環境整備
- ・利用者の個性や心身の状況に応じた支援の実践
- ・利用者の観察と気づきの習慣化
- ・歯科医師、歯科衛生士、栄養士ら専門職との連携
- ・口腔ケア効果の実感～食欲増進・疾病予防・口臭改善
- ・「自立という名のほったらかし」にならないために。

【メモ欄】